



IReC 研究部プロジェクト「EU アイデンティティの構築とその政治的意義」  
2013 年度 第 1 回 講演会



# ドイツ 対外 文化政策の 変容

ヨーロッパ統合進展の中で：  
新たな一歩か、原点回帰か

2013

7/25 (木)

17:00 - 18:30

講  
師

川村 陶子 氏

成蹊大学 文学部 国際文化学科 准教授

場  
所

大会議室

神戸大学 国際文化学研究所 (E401)

◎ 講師プロフィール

川村 陶子 (かわむら・ようこ)

成蹊大学 文学部 国際文化学科 准教授。専門は国際関係論。  
東京大学 大学院 総合文化研究科 博士課程 単位取得退学。  
ドイツを主なフィールドとして、国際関係や外交における  
文化の扱い、国際関係の中の異文化間関係運営をめぐる  
諸問題を研究している。

◎ 主要業績・論文

『国際文化関係史研究』(東京大学出版会、2013年、共編著)、  
「冷戦期ドイツの対外文化政策—『外交の第三の柱』の形  
成」(『国際政治』第 168 号、2012 年)、『『移民国』ドイ  
ツを揺るがしたザラツィン論争—多様性の多次元性、文  
化間対話の可能性』(『インターカルチュラル』第 10 号、  
2012 年) など。

問合先：坂井一成 研究室 (kazu@harbor.kobe-u.ac.jp)